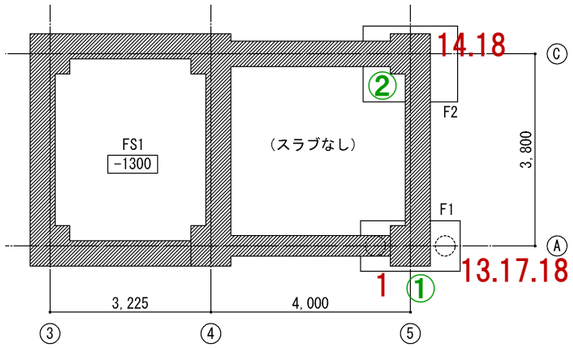
JSCA東北　配筋検査研修

配筋検査チェックシート【基礎部】　基礎、基礎柱

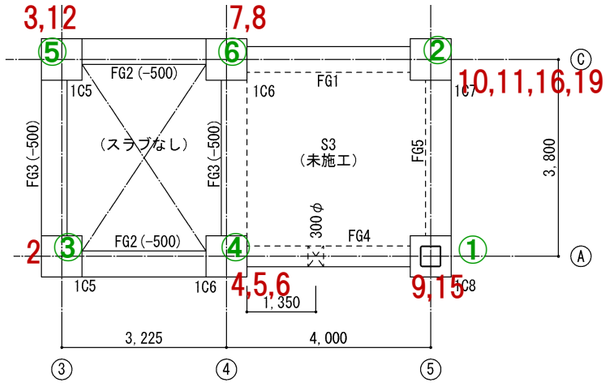
（検査日）	（検査担当者）

部位	検査項目		場所	①	②	③	④	⑤	⑥
			符号	F1	F2				
基礎	断面	幅(X)	1						
		幅(Y)	2						
		高さ	3						
	ベース筋	種類	4						
		本数・径(X)	5						
		本数・径(Y)	6						
		かぶり厚	7	13	14				
		立上り長さ	8	1					
	はかま筋	種類	9						
		本数・径(X)	10						
		本数・径(Y)	11						
		かぶり厚	12	17.18	18				
基礎柱			符号	C8	C7	C5	C6	C5	C6
	断面	幅(X)	13						
		幅(Y)	14						
	主筋	位置	15						
		種類	16						
		本数・径	17				4		7
		間隔	18						
		定着長さ	19	15					
		継手位置	20		16		5		
		固定（結束）状況	21	9					
	帯筋	仕口部対象範囲	22		10		6		8
		本数・径	23		11				
		間隔	24						
		第１帯筋位置	25			12	12	12	12
		かぶり厚	26		19	2		3	
鉄骨柱脚	A.Bolt	位置	27						
		種類	28						
		本数・径	29						
		定着長さ	30						
		固定状況	31						
共通		スペーサー	32						
		段取り筋等防錆処理	33						
		結束状況	34						
		清掃状況	35						



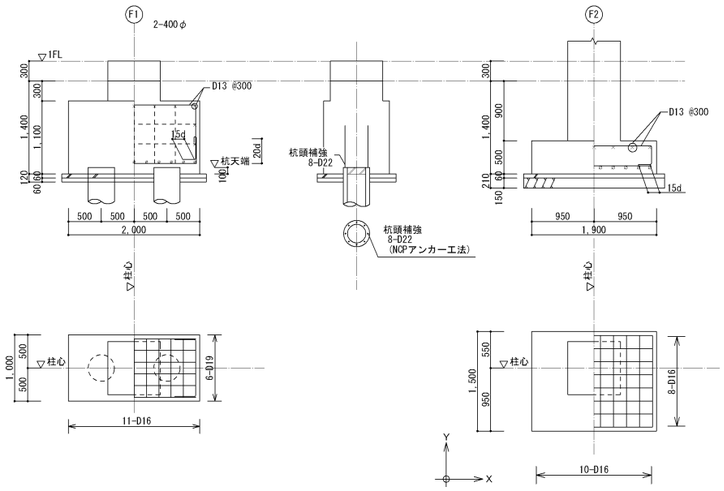
基礎伏図

注）特記なき限り下記による。
1. スラブ天端レベルは1FL±0とする。
2. ▭ 内数値はスラブ天端レベルを示す。
3. 梁天端レベルは1FL-300とする。
4. （　）内数値は梁天端レベルを示す。
5. 基礎底は1FL-1700とする。



1F 床伏図

注）特記なき限り下記による。
1. スラブ天端レベルは1FL±0とする。
2. ▭ 内数値はスラブ天端レベルを示す。
3. 梁天端レベルは1FL-300とする。
4. （　）内数値は梁天端レベルを示す。



C8柱脚

階	符号	C5	C6	C7
1	接合部フープ	D13-□-@150	D13-□-@150	D13-□-@150
	断面	4 / 800 / 800	3 / 800 / 800	4 / 800 / 800
	主筋	12 - D25	10 - D25	14 - D25
	帯筋	D13-□-@100	D13-□-@100	D13-□-@100
	基礎仕口部帯筋	D13-□-@150	D13-□-@150	D13-□-@150

	柱脚形式	EB400-8-30
	ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ	8-M30
	柱脚断面	510 / 340 / 基礎天端
基礎柱型	断面	5 / 5 / 800 / 800
	主筋	16 - D22
	主筋定着長さ	450mm
	帯筋	D13-□-@100

指摘事項

No.	箇所	指摘内容	No.	箇所	指摘内容
例）	①-12	はかま筋かぶり不足			

定着・継手・カットオフ長さ換算表 (mm)

	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38	D41
15d	150	195	240	285	330	375	435	480	525	570	615
20d	200	260	320	380	440	500	580	640	700	760	820
25d	250	325	400	475	550	625	725	800	875	950	1025
30d	300	390	480	570	660	750	870	960	1050	1140	1230
35d	350	455	560	665	770	875	1015	1120	1225	1330	1435
40d	400	520	640	760	880	1000	1160	1280	1400	1520	1640
45d	450	585	720	855	990	1125	1305	1440	1575	1710	1845

注）該当部分に〇印を付ける

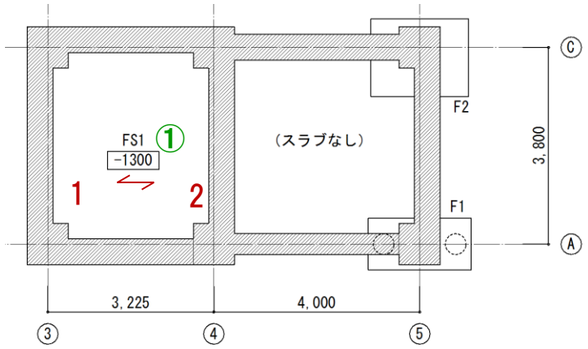
JSCA東北　配筋検査研修

配筋検査チェックシート【基礎部】　耐圧版

（検査日）	（検査担当者）

部位	検査項目		場所	①					
			符号	FS1					
耐圧版・	断面	厚さ	1						
マットスラブ	鉄筋	種類	2						
		主力筋方向	3						
		径・@（主力、上）	4	1					
		径・@（主力、下）	5	1					
		径・@（配力、上）	6						
		径・@（配力、下）	7						
		２段筋位置	8						
		２段筋固定金物	9						
		継手位置	10						
		定着長さ	11	2					
		かぶり厚	12						
		受け筋	13						
	打継ぎ部	位置	14						
		補強筋	15						
		止水対策	16						
	その他	釜場配筋要領	17						
			18						
			19						
			20						
			21						
			22						
			23						
			24						
			25						
			26						
			27						
共通		スペーサー	28						
		段取り筋等防錆処理	29						
		結束状況	30						
		清掃状況	31						

注）主力筋方向は伏図に　⇄　印を付ける



基礎伏図

注）特記なき限り下記による。
1. スラブ天端レベルは1FL±0とする。
2. □ 内数値はスラブ天端レベルを示す。
3. 梁天端レベルは1FL-300とする。
4. （　）内数値は梁天端レベルを示す。
5. 基礎底は1FL-1700とする。

Y
X

符　号	版　厚	位　置	主筋方向(短辺方向)	配力筋方向(長辺方向)	備　考
FS1	400	上端筋	D16　@200	D16　@200	
		下端筋	D16　@200	D16　@200	

定着・継手・カットオフ長さ換算表（mm）

	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38	D41
15d	150	195	240	285	330	375	435	480	525	570	615
20d	200	260	320	380	440	500	580	640	700	760	820
25d	250	325	400	475	550	625	725	800	875	950	1025
30d	300	390	480	570	660	750	870	960	1050	1140	1230
35d	350	455	560	665	770	875	1015	1120	1225	1330	1435
40d	400	520	640	760	880	1000	1160	1280	1400	1520	1640
45d	450	585	720	855	990	1125	1305	1440	1575	1710	1845

注）該当部分に〇印を付ける

指摘事項

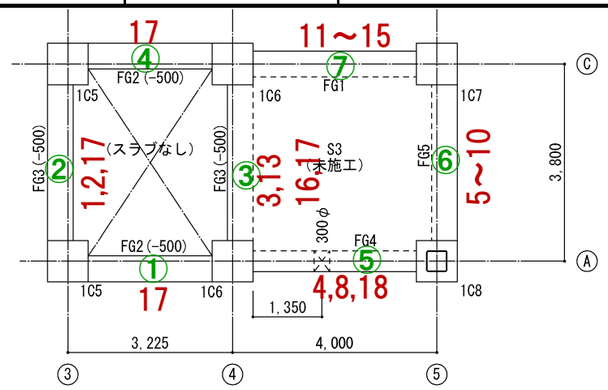
No.	箇所	指摘内容	No.	箇所	指摘内容

JSCA東北　配筋検査研修

配筋検査チェックシート【基礎部】　基礎梁

（検査日）	（検査担当者）

部位	検査項目		場所	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
			符号	FG2	FG3	FG3	FG2	FG4	FG5	FG1
基礎梁	断面	幅	1							
		せい	2							
	主筋	種類	3							
		本数・径（上）	4							12
		本数・径（下）	5							
		あき	6							14
		２段筋位置	7							
		２段筋固定金物	8							
		継手位置	9						5	11
	（ガス圧接）	継手形状等	10							
	（機械式継手）	勘合長さ	11							
	（機械式継手）	グラウト注入状況	12							
		定着長さ	13						10	
		カットオフ長さ	14							
	あばら筋	本数・径	15							
		間隔	16		2	3				
		フックの状態	17						6	
		かぶり厚	18		1			8	8	
		第１あばら筋位置	19							
	腹筋	本数・径	20			16				
	幅止め筋	本数・径	21							
	梁貫通孔	位置	22					4		
		補強筋本数・径	23							
		かぶり厚	24							
	打継ぎ部	位置	25							15
		補強筋	26							
		型枠清掃窓	27							
	ふかし筋	種類	28			13			7	13
		主筋本数・径	29							
		主筋定着長さ	30					18		
		あばら筋本数・径	31							
		あばら筋間隔	32							
		かぶり厚	33							
壁	差し筋	本数・径	34							
		間隔	35							
		定着長さ	36							
			37							
			38							
共通		スペーサー	39	17	17	17	17		9	
		段取り筋等防錆処理	40							
		結束状況	41							
		清掃状況	42							

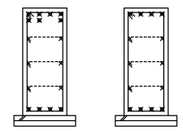
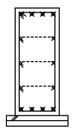
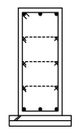
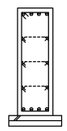
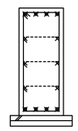


1F 床伏図

注）特記なき限り下記による。
1. スラブ天端レベルは1FL±0とする。
2. □ 内数値はスラブ天端レベルを示す。
3. 梁天端レベルは1FL-300とする。
4. （　）内数値は梁天端レベルを示す。

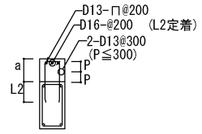
基礎梁リスト

注）特記無きは下記による
・S13は高強度せん断補強筋を示す。
・継手位置のタイプは図S-05,6-1による。

符　号	FG1		FG2	FG3	FG4	FG5
位　置	外端,中央	内　端	全断面	全断面	全断面	全断面
断　面						
BxD	500 x 1200		500 x 1200	500 x 1200	400 x 1200	500 x 1200
上端筋	7-D29	4-D29	4-D29	3-D19	4-D25	4-D29
下端筋	4-D29	4-D29	4-D29	3-D19	4-D25	4-D29
スターラップ	D13-□-@150		D13-□-@200	D13-□-@150	D13-□-@150	D13-□-@200
腹　筋	3 x 2-D13		3 x 2-D13	3 x 2-D13	3 x 2-D13	3 x 2-D13
継手位置	タイプB		タイプA	タイプA	タイプB	タイプB

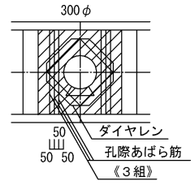
梁上端増打ち要領図

200＜aの場合



注1）200＜aの場合で図示の無い場合は監督員の承認を得て上図を適用すること。
2）a＜70の場合は補強不要とする。

ダイヤレン標準配筋図



※開口を有する区間（補強有効範囲：▨）のあばら筋の配置に当たっては次の点を守る事を原則とする。
（１）孔際あばら筋の組数は孔径に応じて上図のように配筋する。
（２）補強有効範囲内のあばら筋組数は一般部あばら筋ピッチによる組数以上とする。

カットオフ長さ算定表（mm）

位置		径	内法スパンLo	Lo/4	15d	Lo/4+15d	備考
X4	X5	D29	3,200	800	435	1,235	例

注）事前に算定しておく

定着・継手・カットオフ長さ換算表（mm）

	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38	D41
15d	150	195	240	285	330	375	435	480	525	570	615
20d	200	260	320	380	440	500	580	640	700	760	820
25d	250	325	400	475	550	625	725	800	875	950	1025
30d	300	390	480	570	660	750	870	960	1050	1140	1230
35d	350	455	560	665	770	875	1015	1120	1225	1330	1435
40d	400	520	640	760	880	1000	1160	1280	1400	1520	1640
45d	450	585	720	855	990	1125	1305	1440	1575	1710	1845

注）該当部分に〇印を付ける

指摘事項

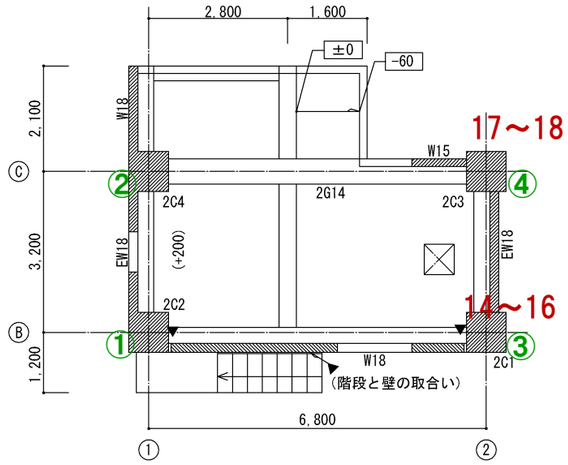
No.	箇所	指摘内容	No.	箇所	指摘内容

JSCA東北　配筋検査研修

配筋検査チェックシート【地上部】　柱（２階、３階柱脚）

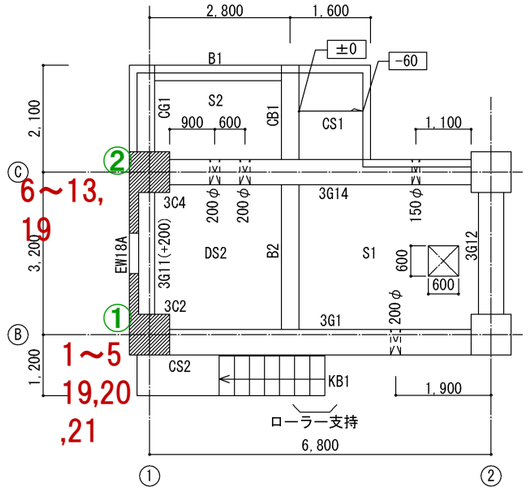
（検査日）	（検査担当者）

部位	検査項目		場所	①	②	③	④
			符号	C2	C4	C1	C3
柱（２階）	断面	幅(X)	1				
		幅(Y)	2				
		向き	3				
	主筋	種類	4				
		本数・径(X)	5		7	15	17
		本数・径(Y)	6		7	15	
		あき	7				
		２段筋位置	8		10		
		２段筋固定金物	9				
		継手位置	10				
	（ガス圧接）	継手形状等	11				
	（機械式継手）	勘合長さ	12				
	（機械式継手）	グラウト注入状況	13				
	帯筋	種類	14				
		本数・径	15		6		
		間隔	16				
		フックの状態	17				
		かぶり厚	18			14	
		第１帯筋位置	19				
	打継ぎ部	前工程打設面処理	20				
		清掃窓	21				
	その他	セパレーター位置	22				
柱（仕口）	帯筋	対象範囲	23				
		種類	24				
		本数・径	25				
		間隔	26				18
	（最上部の場合）	主筋定着長さ	27				
		補強筋本数・径	28			16	17
柱（３階）	断面	幅(X)	29				
		幅(Y)	30				
		向き	31				
	主筋	種類	32	2			
		本数・径(X)	33		7		
		本数・径(Y)	34		7,9		
		あき	35				
		２段筋位置	36	1	10		
		２段筋固定金物	37				
		継手位置	38		11		
	（ガス圧接）	継手形状等	39		12		
	（機械式継手）	勘合長さ	40				
	（機械式継手）	グラウト注入状況	41	3,4			
	帯筋	種類	42				
		本数・径	43		6		
		間隔	44				
		フックの状態	45				
		かぶり厚	46	5			
		第１帯筋位置	47	19	19		
共通		スペーサー設置状況	48	20,21	8	14	
		結束状況	49				
		清掃状況	50				
		設備関係	51		13		



2F 床伏図

注）特記なき限り下記による。
1. スラブ天端レベルは3FL±0とする。
2. ▭ 内数値はスラブ天端レベルを示す。
3. 梁天端レベルは3FL±0とする。
4. （　）内数値は梁天端レベルを示す。
5. ▼印は構造スリット(完全スリット)を示す。



3F 床伏図
（モックアップ床）

注）特記なき限り下記による。
1. スラブ天端レベルは3FL±0とする。
2. ▭ 内数値はスラブ天端レベルを示す。
3. 梁天端レベルは3FL±0とする。
4. （　）内数値は梁天端レベルを示す。

柱リスト

注）特記無きは下記による
・S13は高強度せん断補強筋を示す。　・へは寄せ筋を示す。

階	符号	C1	C2	C3	C4
3	断面		7, 4, 800, 800		5, 4, 800, 800
	主筋		18 - D29		14-D29
	帯筋		D13-4⊞-@100		D13-4目-@100
	機械式継手部帯筋		D10-4⊞-@50		D10-4目-@50
2	仕口部帯筋	D16-□-@150	D13-□-@100	D13-□-@100	D13-□-@100
	断面	4, 4, 800, 800	5, 5, 800, 800	5, 5, 800, 800	5, 6, 800, 800
	主筋	4-D25,8-D29	16 - D29	16 - D29	18 - D29
	帯筋	D16-□-@100	D13-4⊞-@100	D13-□-@100	S13-4目-@100
	機械式継手部帯筋	D13-□-@50	D10-4⊞-@50	D10-□-@50	S10-4目-@50

指摘事項

No.	箇所	指摘内容	No.	箇所	指摘内容

定着・継手・カットオフ長さ換算表（mm）

	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38	D41
15d	150	195	240	285	330	375	435	480	525	570	615
20d	200	260	320	380	440	500	580	640	700	760	820
25d	250	325	400	475	550	625	725	800	875	950	1025
30d	300	390	480	570	660	750	870	960	1050	1140	1230
35d	350	455	560	665	770	875	1015	1120	1225	1330	1435
40d	400	520	640	760	880	1000	1160	1280	1400	1520	1640
45d	450	585	720	855	990	1125	1305	1440	1575	1710	1845

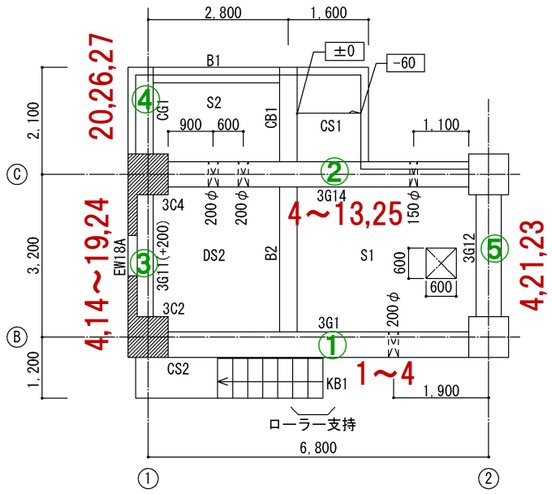
注）該当部分に〇印を付ける

JSCA東北　配筋検査研修

配筋検査チェックシート【地上部】　大梁（3FL）

（検査日）	（検査担当者）

部位	検査項目		場所	①	②	③	④	⑤
			符号	G1	G14	G11	CG1	G12
梁	断面	幅	1					23
		せい	2					
	主筋	種類	3					21
		本数・径（上）	4	2	7			
		本数・径（下）	5					
		あき	6					
		２段筋位置	7	1				
		２段筋固定金物	8					
		継手位置	9					
	（ガス圧接）	継手形状等	10					
	（機械式継手）	勘合長さ	11			16		
	（機械式継手）	グラウト注入状況	12			17		
		定着長さ	13		6	14,15	26	
		カットオフ長さ	14		5			
	あばら筋	本数・径	15				20	
		間隔	16	3	9			
		フックの状態	17		8			
		かぶり厚	18	4	4	4,18		4
		第１あばら筋位置	19					
	腹筋	本数・径	20					
	幅止め筋	本数・径	21					
	梁貫通孔	位置	22		11			
		補強筋本数・径	23		12			
		かぶり厚	24		13			
	打継ぎ部	位置	25			19		
		補強筋	26					
	ふかし筋	種類	27					
		主筋本数・径	28					
		主筋定着長さ	29					
		あばら筋本数・径	30					
		あばら筋間隔	31					
		かぶり厚	32					
その他	デッキPL	かかり代	33					
	型枠		34			24		
共通		スペーサー設置状況	35		25		27	
		打ち継ぎ部状況	36					
		結束状況	37					
		清掃状況	38					

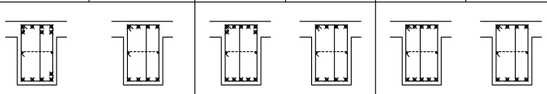
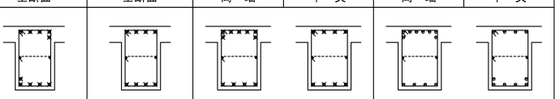
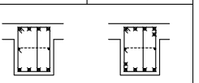


3F 床伏図
（モックアップ床）

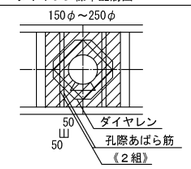
注）特記なき限り下記による。
1. スラブ天端レベルは3FL±0とする。
2. ▭ 内数値はスラブ天端レベルを示す。
3. 梁天端レベルは3FL±0とする。
4. （　）内数値は梁天端レベルを示す。

大梁リスト

注）特記無きは下記による
・S13は高強度せん断補強筋を示す。　・幅止め筋 D10-@1,000

階	符号	G1		G2		G3	
	位置	両端	中央	両端	中央	両端	中央
3	断面						
	BxD	500×800		500×800		500×800	
	上端筋	7-D29	4-D29	7-D29	4-D29	5-D29	4-D29
	下端筋	5-D29	4-D29	5-D29	4-D29	5-D29	4-D29
	スターラップ	S13-◫-@200		D13-◫-@150		D13-◫-@200	
	腹筋	1×2-D10		1×2-D10		1×2-D10	
	符号	G11	G12	G13		G14	
	位置	全断面	全断面	両端	中央	両端	中央
3	断面						
	BxD	500×800	500×800	550×800		550×800	
	上端筋	5-D29	4-D29	7-D29	4-D29	8-D25	4-D25
	下端筋	5-D29	4-D29	4-D29	4-D29	4-D25	6-D25
	スターラップ	S13-□-@200	D13-□-@200	D13-□-@200		D13-□-@200	
	腹筋	1×2-D10	1×2-D10	1×2-D10		1×2-D10	
	符号	CG1					
	位置	先端	元端				
3	断面						
	BxD	500×650					
	上端筋	4-D29	5-D29				
	下端筋	4-D29	5-D29				
	スターラップ	D13-◫-@200					
	腹筋	1×2-D10					

ダイヤレン標準配筋図



※開口を有する区間（補強有効範囲：▨）のあばら筋の配置に当たっては次の点を守る事を原則とする。
（１）孔際あばら筋の組数は孔径に応じて上図のように配筋する。
（２）補強有効範囲内のあばら筋組数は一般部あばら筋ピッチによる組数以上とする。

カットオフ長さ算定表（mm）

位置		径	内法スパンLo	Lo/4	15d	Lo/4+15d	備考
X1	X2	D29	6,000	1500	435	1,935	例
1	2	D25	6,000	1500	375	1,875	3G14

注）事前に算定しておく

定着・継手・カットオフ長さ換算表（mm）

	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38	D41
15d	150	195	240	285	330	375	435	480	525	570	615
20d	200	260	320	380	440	500	580	640	700	760	820
25d	250	325	400	475	550	625	725	800	875	950	1025
30d	300	390	480	570	660	750	870	960	1050	1140	1230
35d	350	455	560	665	770	875	1015	1120	1225	1330	1435
40d	400	520	640	760	880	1000	1160	1280	1400	1520	1640
45d	450	585	720	855	990	1125	1305	1440	1575	1710	1845

注）該当部分に○印を付ける

指摘事項

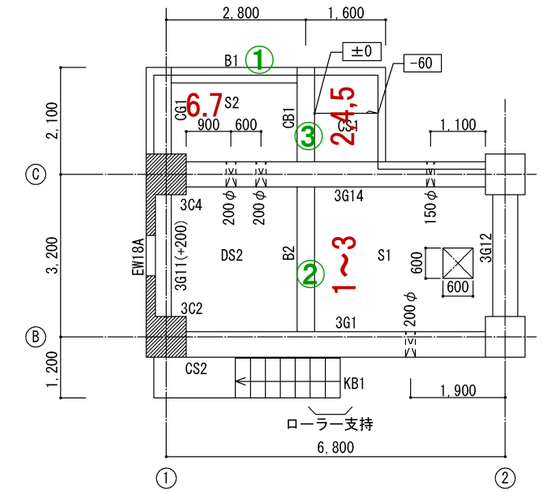
No.	箇所	指摘内容	No.	箇所	指摘内容

JSCA東北　配筋検査研修

配筋検査チェックシート【地上部】　小梁（3FL）

（検査日）	（検査担当者）

部位	検査項目		場所	①	②	③	④	⑤	⑥
			符号	B1	B2	CB1			
梁	断面	幅	1	7					
		せい	2						
	主筋	種類	3						
		本数・径（上）	4						
		本数・径（下）	5						
		あき	6		1				
		２段筋位置	7		2	2			
		２段筋固定金物	8						
		継手位置	9						
	（ガス圧接）	継手形状等	10						
	（機械式継手）	勘合長さ	11						
	（機械式継手）	グラウト注入状況	12						
		定着長さ	13			4			
		カットオフ長さ	14		3	5			
	あばら筋	本数・径	15						
		間隔	16						
		フックの状態	17						
		かぶり厚	18						
		第１あばら筋位置	19						
	腹筋	本数・径	20						
	幅止め筋	本数・径	21						
	梁貫通孔	位置	22						
		補強筋本数・径	23						
		かぶり厚	24						
	打継ぎ部	位置	25						
		補強筋	26						
	ふかし筋	種類	27						
		主筋本数・径	28						
		主筋定着長さ	29						
		あばら筋本数・径	30						
		あばら筋間隔	31						
		かぶり厚	32						
その他	デッキPL	かかり代	33						
共通		スペーサー設置状況	34	6					
		打ち継ぎ部状況	35						
		結束状況	36						
		清掃状況	37						



3F 床伏図
（モックアップ床）

注）特記なき限り下記による。
1. スラブ天端レベルは3FL±0とする。
2. ▭ 内数値はスラブ天端レベルを示す。
3. 梁天端レベルは3FL±0とする。
4. （ ）内数値は梁天端レベルを示す。

小梁リスト

符号	B1	B2			CB1	
位置	全断面	B 端	中 央	C 端	先 端	元 端
断面		(外端)				
BxD	300 x 650	350 x 650			350 x 650	
上端筋	3-D19	4-D22	4-D22	6-D22	3-D22	6-D22
下端筋	3-D19	4-D22	6-D22	4-D22	3-D22	3-D22
スターラップ	D10-□-@200	D10-□-@200			D10-□-@200	
機械式継手部帯筋						
腹筋	1 x 2-D10	1 x 2-D10			1 x 2-D10	

カットオフ長さ算定表（mm）

位置		径	内法スパンLo	Lo/4	15d	Lo/4+15d	備考
X1	X2	D29	6,000	1,500	435	1,935	例
B	C	D22	2,825				B2下筋）Lo/6-20d=30
C		D22	1,825				CB1上筋）2/3L+15d=1547

注）事前に算定しておく

定着・継手・カットオフ長さ換算表（mm）

	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38	D41
15d	150	195	240	285	330	375	435	480	525	570	615
20d	200	260	320	380	440	500	580	640	700	760	820
25d	250	325	400	475	550	625	725	800	875	950	1025
30d	300	390	480	570	660	750	870	960	1050	1140	1230
35d	350	455	560	665	770	875	1015	1120	1225	1330	1435
40d	400	520	640	760	880	1000	1160	1280	1400	1520	1640
45d	450	585	720	855	990	1125	1305	1440	1575	1710	1845

注）該当部分に〇印を付ける

指摘事項

No.	箇所	指摘内容	No.	箇所	指摘内容

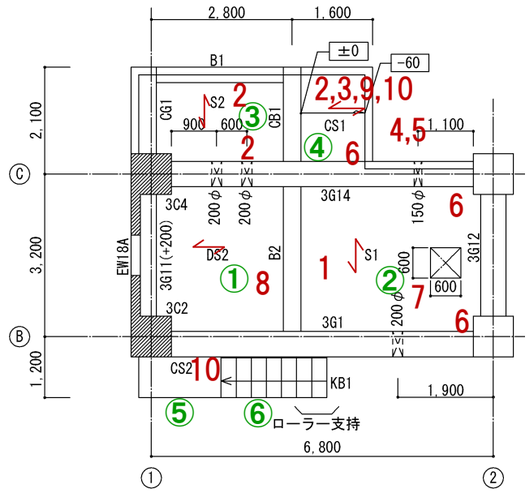
JSCA東北　配筋検査研修

配筋検査チェックシート【地上部】　床版（3FL）

（検査日）	（検査担当者）

部位	検査項目		場所	①	②	③	④	⑤	⑥
			符号	DS2	S1	S2	CS1	CS2	階段
床版	断面	厚さ	1						
(階段含む)	鉄筋	種類	2						
		主力筋方向	3						
		径・@（主力、上）	4						
		径・@（主力、下）	5						
		径・@（配力、上）	6				3		
		径・@（配力、下）	7				3		
		継手位置	8						
		定着長さ	9		1		4,10	10	
		かぶり厚	10				5,9		
		受け筋	11			2	2		
	打継ぎ部	位置	12						
		補強筋	13						
	段差補強	本数・径	14						
		定着長さ	15						
	開口補強	本数・径	16		7				
		定着長さ	17						
	隅角部補強	本数・径	18		6		6		
		長さ	19						
	CD管,PF管	設置状況	20	8					
機械基礎等	差し筋	本数・径	21						
		間隔	22						
		定着長さ	23						
共通		スペーサー設置状況	24				9		
		曲がり状況	25						
		打ち継ぎ部状況	26						
		結束状況	27						
		清掃状況	28						

注）主力筋方向は伏図に⟷ 印を付ける



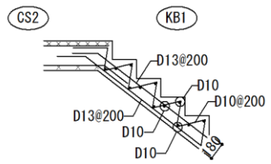
3F 床伏図
（モックアップ床）

注）特記なき限り下記による。
1. スラブ天端レベルは3FL±0とする。
2. ▭ 内数値はスラブ天端レベルを示す。
3. 梁天端レベルは3FL±0とする。
4. （ ）内数値は梁天端レベルを示す。

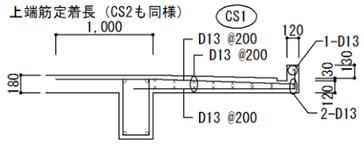
床版リスト

符　号	版　厚	位　置	主筋方向(短辺方向)	配力筋方向(長辺方向)	備　考
S1	180	上端筋	D13　@200	D10D13@200	
		下端筋	D13　@200	D10D13@200	
S2	180	上端筋	D10D13@200	D10　@200	
		下端筋	D10D13@200	D10　@200	
S3	180	上端筋	D13　@200	D13　@200	
		下端筋	D13　@200	D13　@200	
DS2	180	上端筋	D10D13@200	D10　@200	型枠デッキ
		下端筋	D10D13@200	D10　@200	
CS1	120～180	上端筋	D13　@200	D13　@200	
		下端筋	D13　@200	D13　@200	
CS2	300	上端筋	D13　@100	D13　@200	
		下端筋	D13　@200	D13　@200	

KA2階段配筋要領図



上端筋定着長（CS2も同様）



定着・継手・カットオフ長さ換算表（mm）

	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38	D41
15d	150	195	240	285	330	375	435	480	525	570	615
20d	200	260	320	380	440	500	580	640	700	760	820
25d	250	325	400	475	550	625	725	800	875	950	1025
30d	300	390	480	570	660	750	870	960	1050	1140	1230
35d	350	455	560	665	770	875	1015	1120	1225	1330	1435
40d	400	520	640	760	880	1000	1160	1280	1400	1520	1640
45d	450	585	720	855	990	1125	1305	1440	1575	1710	1845

注）該当部分に○印を付ける

指摘事項

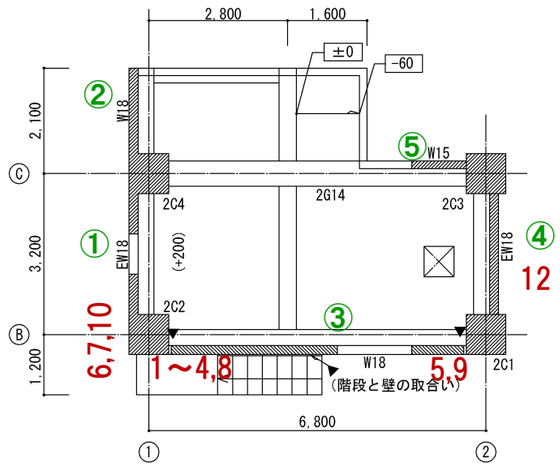
No.	箇所	指摘内容	No.	箇所	指摘内容

JSCA東北　配筋検査研修

配筋検査チェックシート【地上部】　壁（２階、３階）

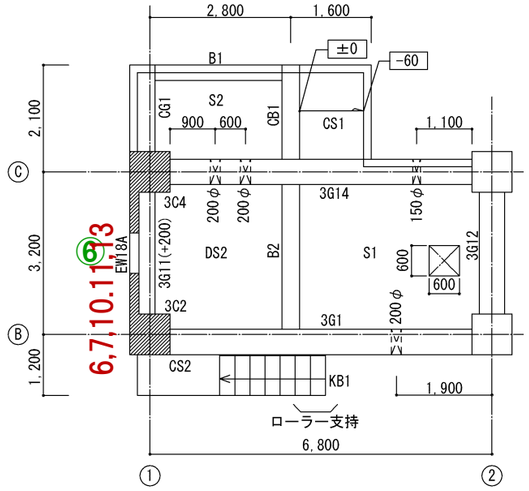
（検査日）	（検査担当者）

部位	検査項目		場所	①	②	③	④	⑤	⑥
			符号	EW18	W18	W18	EW18	W15	EW18A
壁	断面	厚さ	1						
	壁筋	種類	2						
		外側筋方向	3						
		径・@（タテ）	4						
		径・@（ヨコ）	5						
		継手位置	6						
		定着長さ	7						
		定着要領	8	6			12		6
		かぶり厚	9						
	幅止め筋	径・@	10						
	開口補強	本数・径	11						
		定着長さ	12						
		キャップ	13	7					7
		あき	14	10					10
	目地	位置	15						
	構造スリット	位置、仕様	16			3			
		スリット幅	17			8			
		振れ止め筋	18			1,2,5,9			
		設置状況	19			4			
	CD管,PF管	設置状況	20						13
共通		スペーサー設置状況	21			8			11
		結束状況	22						
		清掃状況	23						



2F 床伏図

注）特記なき限り下記による。
1. スラブ天端レベルは3FL±0とする。
2. ▭ 内数値はスラブ天端レベルを示す。
3. 梁天端レベルは3FL±0とする。
4. （ ）内数値は梁天端レベルを示す。
5. ▼印は構造スリット(完全スリット)を示す。



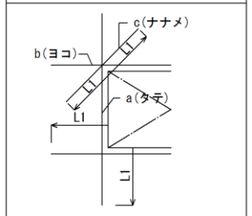
3F 床伏図
（モックアップ床）

注）特記なき限り下記による。
1. スラブ天端レベルは3FL±0とする。
2. ▭ 内数値はスラブ天端レベルを示す。
3. 梁天端レベルは3FL±0とする。
4. （ ）内数値は梁天端レベルを示す。

壁リスト

符　号		W15	W18	EW18	EW18A
断　面		150	180	180	180
縦　筋		D10@200(チドリ)	D10@200(ダブル)	D13@200(ダブル)	D13@200(ダブル)
横　筋		D10@200(チドリ)	D10@200(ダブル)	D13@200(ダブル)	D13@200(ダブル)
開口補強筋	a(タテ)	2-D13	2-D13	4-D13	2-D16
	b(ヨコ)	2-D13	2-D13	4-D13	2-D16
	c(ナナメ)	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13
備　考					

開口部補強要領



構造スリット
要領は図S-12, §21による。
スリット幅　鉛直 W= 30mm
水平 W= 30mm

定着・継手・カットオフ長さ換算表 (mm)

	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38	D41
15d	150	195	240	285	330	375	435	480	525	570	615
20d	200	260	320	380	440	500	580	640	700	760	820
25d	250	325	400	475	550	625	725	800	875	950	1025
30d	300	390	480	570	660	750	870	960	1050	1140	1230
35d	350	455	560	665	770	875	1015	1120	1225	1330	1435
40d	400	520	640	760	880	1000	1160	1280	1400	1520	1640
45d	450	585	720	855	990	1125	1305	1440	1575	1710	1845

注）該当部分に〇印を付ける

指摘事項

No.	箇所	指摘内容	No.	箇所	指摘内容